

箕面ビジターセンターだより

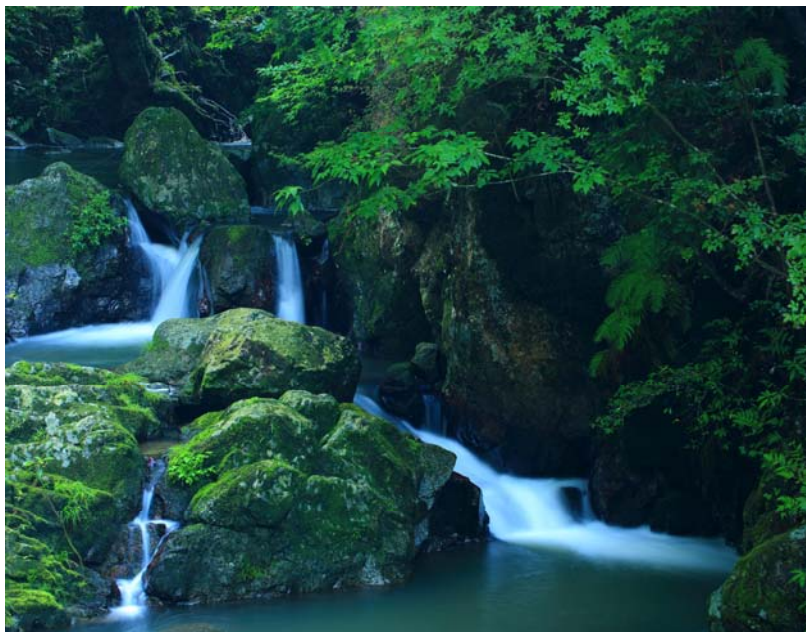
2016年
7月・8月
9月号

季刊 箕面ビジターセンターだより NPO法人みのお山麓保全委員会・大阪府 発行

夏でも涼しい箕面の山へ



ビジターセンターで気温を測定すると、大阪市街地と比べて5℃ほど低いです。これは、標高が上がる効果に加えて、森林の動植物たちのはたらきも大きく、植物が根から水を吸い上げ、葉から水蒸気として放出する「蒸散」もその一つです。又、たくさんの土壌動物たちがつくる、ふかふかの土壌は、コンクリートの道路のように熱くなりません。うだるような暑い日は箕面の森に遊びにきてください。天然のエアコンをきかせてお待ちしています。



水辺で見られる生きもの

川のせせらぎを聞きながら涼んでいると、さまざまな生き物たちに出会うことができます。



オオサンショウウオ



カワムツ



カジカガエル



サワガニ



アサヒナカワトンボ



ミヤマカワトンボ

キノコ

雨上がりの森の中では、様々な種類のキノコが顔を出します。キノコは色や形がおもしろいもの、毒があるものなど多様性に富んでいます。私たちがキノコとして認識しているものは子実体と言い、次世代である胞子を散布する器官であり、植物でいえば「花」にあたります。本体は、土や落ち葉や枯れ木に絡みつく菌糸です。



タマゴタケ
卵のような形の頂点をやぶって、赤い子実体が顔を出す

キヌガサタケ
白いレースのような傘が特徴的

よく見られる毒キノコ

※キノコは、採らないで眺めるだけにしましょう！



ドクツルタケ

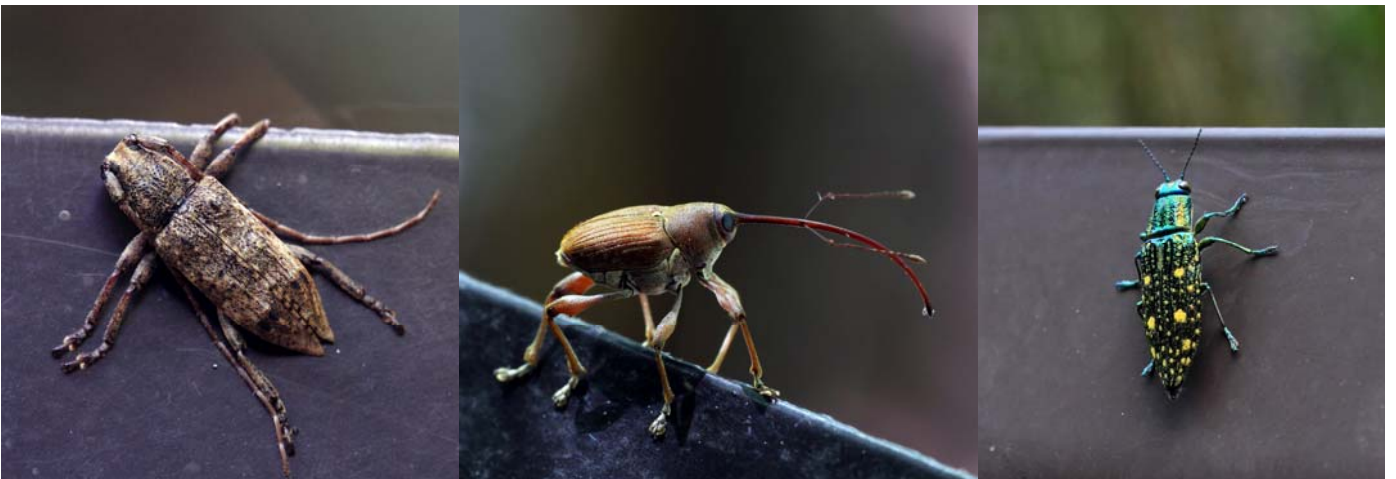
シロオニタケ

ウスタケ

ニガクリタケ

ガードレールや擬木を観察してみよう

生き物が捕食者から身を守るためや、時には獲物に気づかれないようにするために、まわりの環境に似せることを「擬態」といいます。道路わきや林道沿いのガードレールや擬木などにも、小さな生き物たちが隠れていることがあります。森の中で、生き物たちの擬態を見破ることはとても難しいですが、このような人工物への擬態を見破るのは、比較的 難易度が低いので探してみましょう。



カミキリムシの仲間

ゾウムシの仲間

タマムシの仲間

他の生き物を利用して生きる

生きもの同士の関わりのうち、一方だけが利益を享受し、もう一方は害となる関係を「寄生」といいます。寄生には様々な種類がありますが、今回は2つの寄生関係について紹介します。

<植物に寄生する植物>



植物は、光合成によって必要な養分をつくることができます。しかし、ナンバンギセル(写真)は葉緑体を持たずイネ科の他の植物に寄生して養分を得ています。紫色をした釣鐘状の花を咲かせた後は、種子をつけイネ科植物の根の近くで発芽して成長します。寄生されたイネ科植物は枯れてしまうこともあるようです。※写真はミョウガに寄生するナンバンギセル

<昆虫に寄生するキノコ>



多くのキノコは枯れ木や落ち葉に菌糸をのびします。しかし、中には生きた昆虫に寄生するものもあります。冬には虫であったものが、夏になると草(キノコ)に変わるという由来から、「冬虫夏草」と呼ばれています。セミやアリなどの昆虫の他、クモにも菌が寄生して子実体を伸ばします。発見するのは非常に難しいです。※写真はセミの幼虫に寄生するセミタケ

スズメバチとハニカム構造

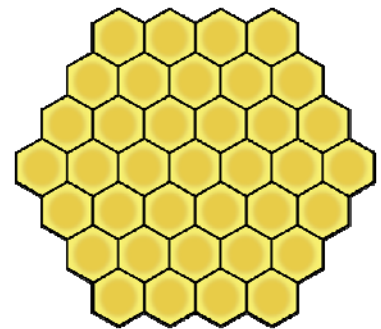
山を歩いていると、ひときわ低く、ブーンという重たい音を耳にすることがあります。オオスズメバチです。日中は、樹液がしみだす場所に集まっているところも見かけます。



スズメバチは多くの昆虫を幼虫のエサとしており、人間にとっての害虫をたくさん食べてくれる森の仲間ですが、夏休みは山や森で遊ぶ機会が多く、ハチに刺される事故は、8・9月に集中しています。

夏から秋にかけては、働きバチがどんどん増えて、外敵に対する攻撃性は高くなるので気をつけましょう。白や黄色(黒色ではなく)の服装(長そで、長ズボン)や帽子を着用する他、ハイキングコースから外れて歩かない、ハチに遭遇したら手で払わずに騒がずに逃げるなど、ハチ刺されに注意しましょう。

「ハニカム(ハチの巣)構造」の利点



1 平面を有効活用

正六角形は隙間なく並びます。少ない巣材で作ることができ、1部屋も大きくなります。

2 強度がある

円柱と六角柱を紙で作って机に立て上から手でつぶしてみると、六角柱がいかに強い実感できます。

※ハニカム構造は、飛行機の構造部材など、人のくらしにも活用されています。

毎月 第2日曜は「森の自然工作教室」

ビジターセンター講義室で、小さな木の実などの自然素材を使って、工作を楽しもう！ **家族向け**
7月10日(日)・8月14日・21日(日)・9月11日(日)



午後12:30～15:00ごろ
 ☆少雨決行(警報発表時は中止)
 ☆ビジターセンター集合
 ☆参加費:1作品につき100円
 ☆申込:当日受付、先着30名
 ☆協力:一休さんの自然工作教室

箕面川ダム周遊 自然観察ツアー

箕面川ダムのまわりをゆっくり歩きながら、野鳥や夏の植物などを楽しく観察しよう！ **一般向け**
7月17日(日)・9月18日(日)



午後12:30～15:00ごろ
 ☆少雨決行(警報発表時は中止)
 ☆ビジターセンター集合
 ☆参加費:100円 子ども無料
 ☆申込:当日受付、先着15名
 ☆協力:箕面VC自然解説指導員

川の中の生き物を観察しよう！

ビジターセンター近くの川に入って、川の中にいる小さな生きもの(水生昆虫など)を観察しよう！ **家族向け**
8月11日(祝)・28日(日)



午後12:30～15:00ごろ
 ☆雨天中止
 ☆ビジターセンター集合
 ☆参加費:100円 子ども無料
 ☆申込:当日受付、先着15名
 ☆持ち物:ぬれてもいい履物など

アリジゴクの不思議発見！

ビジターセンター展示室近くで、アリジゴクの巣を探したり、アリジゴクの不思議を観察しよう！ **家族向け**
7月3日(日) 午後12:30～15:00ごろ



☆少雨決行(警報発表時は中止)
 ☆ビジターセンター集合
 ☆参加費:100円 子ども無料
 ☆申込:当日受付、先着15名
 ☆協力:箕面VC自然解説指導員

箕面のキノコを探そう！

ビジターセンター近くの自然研究路をゆっくり歩きながら、いろいろなキノコを探します。講義室で見つけたキノコの観察(同定)をします。
7月24日(日)・9月25日(日) 一般・家族向け



午後12:30～15:00ごろ
 ☆少雨決行(警報発表時は中止)
 ☆ビジターセンター集合
 ☆参加費:100円 子ども無料
 ☆申込:当日受付、先着30名
 ☆協力:阪神キノコ研究会

猛毒のキノコ(カエンタケ)に注意して下さい！

箕面でも、きわめて毒性が強いキノコ(カエンタケ)が発見されています。今年も発生する可能性があります。カエンタケは、さわるだけでも皮膚に炎症を起こす恐れがあり、たいへん危険です。写真のようなキノコを発見しても、さわらないように注意をしてください。



箕面ビジターセンター(政ノ茶屋園地)

住所:〒562-0001 箕面市箕面1576 Tel/Fax:072(723)0649
 休館日:火曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始
 ※施設や駐車場は利用できませんが、入園は可能
 時間:10時から16時まで(4月から11月の土日祝は9時30分から17時迄)
 【マイカーご利用の方】新御堂筋国道423号を北上し、白鳥交差点を左折
 箕面浄水場を右折し、府道豊中亀岡線を北上(約5km)

【電車ご利用の方】

(1) 阪急箕面線「箕面駅」下車、箕面大滝を經由して徒歩約90分
 (2) 阪急バス「千里中央駅」乗車、「勝尾寺」下車徒歩約30～40分
 「千里中央④停留所」発車予定時刻 **※時刻表は変更の可能性があります。**
 (粟生団地経由、勝尾寺、北摂霊園方面行) ***午前の時刻表を表示**

平日 9:10、11:15 土曜・日祝日 9:00、9:55、10:55

「勝尾寺停留所」発車予定時刻 **阪急バスにご確認ください。**

(千里中央方面行) ***午後の時刻表を表示**

平日 13:28、16:31 土曜・日祝日 12:31、13:38、14:26、15:23、16:48



編集後記:

ゆっくり箕面の森を歩いて、身近な自然とふれあいましょう！ホームページをリニューアルしました。

箕面ビジターセンターのイベントなどの情報は、ホームページをご覧ください。 <http://yama-nami.net/minoh-visitor/>
 NPO法人みのお山麓保全委員会 Tel/Fax:072(724) 3615 Eメール: yama-nami@yama-nami.net

Meiji-no-mori Minoh Quasi-National Park



大阪府北部農と緑の総合事務所
 〒567-0034 茨木市中穂積一丁目3番43号(大阪府三島市民センタービル内)
 TEL 072(627) 1121(代表) /ファックス 072(623) 4321
 ホームページ <http://www.pref.osaka.jp/hokubunm/youkoso/index.html>